生まれ育った東山区から京都のために……

京都市会議員

市民と市政のパイプ役

平山たかお レポート

TAKAO HIRAYAMA REPORT

第９号
2020. 7 月

目　次

1面　平山の思い
2面　平山ビジョン「東山モデルについて」「７月特別市会について」
3・4面　付録『一枚でわかる「新型コロナ対策まとめ」』

編集・発行
平山たかお事務所
〒605-0981京都市東山区本町10丁目153
TEL 075-746-4715　FAX 075-746-4739
http://takao-hirayama.info/

～本号作成にあたっての平山の思い～

いつも、平山たかおの活動にご支援を頂き、感謝を申し上げます。

中国の武漢において発生をした新型コロナウイルス感染症。この感染症の発生により、わが国も大きな影響を受け、過日の緊急事態宣言を経て、市民の全ての皆様のご尽力もあり、去る６月19日には他府県を跨ぐ往来も可能になったところです。また、第二波、第三波が懸念されますが、全てがこれまでの日常に戻る事は、容易い事ではありません。これからの社会は、「三密対策」や「ソーシャルディスタンス」など、新たな生活様式を取り入れたライフスタイルの構築が求められる事でしょう。一方で、自粛要請等に伴い、京都市経済はもちろん、わが国の経済活動は縮小を余儀なくされました。傷ついた経済活動、冷え込んだ景気、そして、皆様、お一人お一人の生活を、少しでもお支えするため、国、京都府、京都市として、出来得る対策を実施しているところです。過日より、数度に渡り、様々な方法で、このような新型コロナ対策をまとめた資料を発信しており、もしかすると、「またか…。」と思っておられる方もいらっしゃるかもしれません。

しかし、「新型コロナ対策」は日々更新をされ、最新の情報を、私が駆使できるあらゆる媒体を通じ、皆様の元へ発信できればとの思いで作成しています。なので、一人でも、このレポートで、こんな制度があるのだと気付かれ、活用に繋がったり、何かの一助となれば、筆者として、こんなに嬉しいことはありません。

何かご不明な点や、お困りごとはお気軽に、私、平山たかおまでお問い合わせ下さい！

全力で承りますので、よろしくお願い致します。

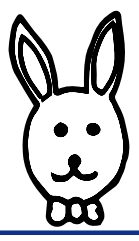
京都市会議員　平山たかお

プロフィール・略歴

東山区選出の京都市会議員。1987（昭和62）年生まれ。生まれも育ちも東山。立命館大学を卒業後、(株)三井住友銀行を経て、2015年４月初当選。2019年４月より現在２期目。京都市会総務消防委員会副委員長、自由民主党京都市議団幹事。

＼各種SNSにて、さまざまな最新情報を随時発信しております／

平山たかお オフィシャルSNSのご案内



▶ 地域のお困りごと・新型コロナ等のご相談はこちら

New

LINE 公式アカウント

もちろん無料！お気軽にご相談下さい！

① 地元の議員に直接相談できる‼
② 新型コロナの支援策について最新の情報を知りたい‼
③ 最新の資料が随時配信される‼

＼友達登録お願いいたします／

▶ 新型コロナ対策を含め、様々なコンテンツを配信

New

Youtube 公式チャンネル

＼チャンネル登録お願いします／

QRコードの読み取り または、検索をお願いします

平山たかおチャンネル

話題のトピックを分かりやすく解説します‼

▶ 最新の新型コロナ対策をまとめた資料が欲しい方へ

公式 HP から資料ダウンロード

ここをクリック

最新情報、日々更新中！
新型コロナウイルス感染症に関する補助金 給付金等について

その他の SNS でも情報を配信中です‼

＼フォローをお願いします／
Twitter公式アカウント
QRコードの読み取り
または、検索をお願いします
@tachirayama

＼友達リクエストお気軽にどうぞ／
Facebook公式アカウント
QRコードの読み取り
または、検索をお願いします
@hirayamatakao

＼フォローをお願いします／
Instagram公式アカウント
QRコードの読み取り
または、検索をお願いします
@hirayama.takao.kyoto

７月特別市会について

国の二次補正予算を受け、京都市会において、検査体制の強化、感染拡大防止対策への万全の備え、および、大変厳しい状況にある京都経済の回復と市民生活の下支えを行う補正予算163億円を可決致しました。

〈京都市会も「三密対策」等の感染拡大防止対策を取り、議論を行っています〉

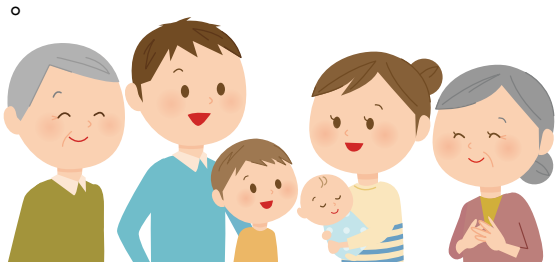
私からは、これらの補正予算が、コロナ禍で傷付いた市民生活を支え、また、新型コロナウイルスからの安全•安心に繋がる施策にするように、全力で議論!!

1	**第２波、第３波に備えた検査体制の強化、感染拡大防止対策** 全自動PCR装置の導入による検査体制の強化や、避難所、社会福祉施設における対策の強化など	約28億円
2	**京都経済の回復と市民生活の下支え** 落ち込んだ消費•需要を回復させるための下支えとして、業界等が一体となった活性化支援事業、衛生対策等の徹底による安心•安全の確保と地域との調和の実現に向けた「新しい観光スタイル」の推進など。また、事業継続のための中小企業等担い手確保•育成支援事業、社会福祉施設の担い手確保対策など	約62億円
3	**ウィズコロナ社会における安心安全と市民生活の両立支援** 子ども、学生の学びの保障として、人的体制の整備や、感染予防対策をはじめとした学習環境整備、地域コミュニティ活性化に資する取組、また、地域公共交通における感染拡大防止対策など	約75億円
4	**新型コロナウイルス感染症対策予備費**	約14億円
5	**当初予算の見直しによる財源捻出**	▲約16億円
合　計		163億円

➡皆様がご利用いただきやすい、生活支援、補助金、給付金の制度等は、３面、４面にまとめましたので、ご参考にご活用ください。
なお、可決された詳細に関しては、YouTubeなどの各種SNSにおいてもアップする予定です。もちろん、直接、私までお問い合わせ頂いても大丈夫です！！

人口減少社会、東山区の新たなまちづくりへの挑戦について（東山モデル）

令和２年２月市会において、**「観光課題解決先進都市に向けて」**という題で、自民党京都市会議員団を代表し、私から市長に質疑を行いました。特に東山区では、人口減少が進み、空き家が出来たら、すぐに簡易宿所等になり…という課題も示し、東山区における課題解決が、京都市のみならず、日本全国の新しい指針になるのでは？　と問いました。そこで、今般の７月特別市会において**「地域コミュニティ活性化に資する新たな住まい創出支援事業」**という制度が可決されました。この制度は、昨今のコロナ禍により、観光客や宿泊客が激減している中で、特に廃業の危機に直面している京町家等の宿泊施設を放置すると、空き家（空き民泊）などが増え、地域の空洞化に繋がるため、事業者が、当該施設を住まい等に用途変更される場合、補助金等による、用途変更の促進•支援を行うものです。合わせて、この制度を活用する場合、町内会など地域と、しっかりとコミュニケーションが図れるようにすることも、制度の中には含まれています。この支援制度が、人口が増加する取組に繋がることを期待すると共に、地域コミュニティの活性化に資する取組となり、**「東山モデル」**として京都市のみならず全国の同様の悩みを抱えている自治体の指針となることを祈るものです。



（参考）東山区の人口推移（４月１日現在（推計））
2010年：39,970人➡2015年：39,112人➡2020年４月１日現在：36,707人

（解説）
2010年からの５年間においては、約２％の減少。
2015年からの５年間では、約６％以上の減少。（市民新聞参照）
もし、2015年からの５年間と同様の減少率であったと仮定すると、2025年には、34,450人となる。
人口減を食い止めるには、

①ご高齢の方に元気でいて頂く事（健康寿命を伸ばす施策）
②子育て支援などの人口を増やす施策
③住宅の供給（居住ニーズがあれば）

以上のような施策を行えば、人口は増えると思われる。東山区はご存知の通り、公共交通機関の充実など利便性が高く、東山開晴館や東山泉の両小中一貫校などの公教育も充実している。よって、居住ニーズはあると私は考える。一方で、観光客にも、魅力的な地域であるため、居住用の建物にするより、宿泊用等の建物にする方が事業者にとっては、経済的なメリットが高いわけである。
今回の「住まい創出支援事業」は、これまで宿泊施設であったものが、居住用等の建物に転用されることを促進、支援する取組です。すなわち、居住用建物が増えれば、その分、住宅の供給が図られ、居住ニーズと、供給が合えば、人口の増加につながると、私は考えます。

平山たかお君を囲む会について（市政報告と後援会パーティー）

毎年、９月頃に行っておりました、「平山たかお君を囲む会」ですが、新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえ、**延期**と後援会世話人会において決定致しました。お楽しみにされておられた方には、大変申し訳ございませんが、何卒、ご理解賜りますようにお願い申し上げます。

昨年開催された「平山たかお君を囲む会」